

米軍普天間基地所属 MV-22オスプレイの不時着水事故に対する 意見書・抗議決議

【本文】

平成28年12月13日午後9時30分頃、米軍普天間基地所属のMV-22オスプレイ1基が、名護市東海岸に不時着水し、機体が大破する事故が発生した。

MV-22オスプレイの普天間基地配備については、これまで本村議会は2度に渡り、配備反対の意思を示していたが、米軍は安全性を強調し、なかば強制配備をした感が拭えない状況である。

配備後は、キャンプ・ハンセンを抱える本村においてもMV-22オスプレイをはじめ、その他軍用ヘリが昼夜を問わず訓練しており、住民は騒音等に悩まされてきた。

また、最近では隣接する宜野座村で物資のつり下げ訓練が民間地域で実施され、地域住民の安全を脅かす問題になっていた。

その様な中、今回の事故が発生したことは誠に遺憾であり、憤りを覚えるものである。

住宅密集地で事故が発生していた場合、住民を巻き込む重大な事故となっていたことは明白である。

よって、本村議会は、地域住民の安心・安全を守る立場から、下記の事項が速やかに措置されるよう強く要請する。

記

1. 今回の事故について、徹底した原因究明と迅速な情報提供を行うこと。
2. 安全性が確認されるまでMV-22オスプレイの飛行を中止すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成28年12月16日

沖縄県恩納村議会

【意見書宛先】

内閣総理大臣・外務大臣・防衛大臣・沖縄及び北方担当大臣・外務省特命全権大使（沖縄担当）
沖縄防衛局長

【抗議決議宛先】

駐日米軍大使・在日米軍司令官・在沖米軍総領事・在沖米四軍調整官

平成29年3月定例会のご案内

3月定例会は、3月6日（月）から17日（金）までの会期予定です。
なお、一般質問については3月14日（火）、15日（水）を予定しております。
詳しくは、議会事務局（☎966-1199）までお問い合わせください。
皆様の傍聴を、お待ちしております。

恩納村議会議員一同

※ 議会だより「うんなNo.131」については、今回「審議結果一覧」は紙面の都合上、掲載しておりません。ご了承ください。

広報委員長 平良 幸夫

佐渡山 明 議員



『村営墓地団地整備と合葬式村民共同墓の建設』を再質問する

質 村は、墓地公園測量設計の入札を実施したが、全体構想を伺います。

答 村民課長 金城尚子

墓地、緑地公園、駐車場、納骨堂エリアなど、墓地公園の配置計画案を考えていきたい。

墓地エリアは恩納・南恩納地区墓地団地として40区画を予定し、駐車場エリアは、村斎場の駐車場としても利用できる配置を

考えたい。

村民の合葬式納骨堂を設置し、利用者のためのトイレを設置します。

緑地エリアを設け、清明祭には利用者が寛げる場を、創設できると考えております。

質 斎場周辺の墓地団地整備は、平成30年度の完成を目指して行くことに、お変わりないでしょうか。

答 村民課長 金城尚子

条例を整備し、平成30年には供用開始ができる様に、努めていきたいと思っております。

村民の健康維持に欠かせない基本健診・特定健診・長寿健診の中から、主に『特定健診』を伺う

質 平成20年度から始まった特定健診と特定保健指導、恩納村の受診率、担当課長として満足されているのか伺います。

答 福祉健康課長 長浜保治

特定健診は、平成21年度、平成24年度に比べ、平成27年度は下がってきているのが現状です。特定保健指導は引き続き、こま

めな指導が求められると考えております。

質 村では、一般健診や特定健診を行っておりますが、健診費用の補助と自己負担額を伺います。

答 福祉健康課長 長浜保治

自己負担額は、集団健診で1,300円、がん検診をセットにした部分で6,500円。

特定健康診査の自己負担は集団健診で500円、がん検診をセットにした個別健診が6,500円となっております。

質 平成25年度に、自己負担額を求めている市町村は国頭、今帰仁、本部、中城に恩納村だけです。平成28年度には今帰仁、本部、恩納村だけになりました。

村では未だに、健診費用の個人負担を求めています。その理由を教えてください。

答 福祉健康課長 長浜保治

「受益者負担という形で500円を頂いている」と、聞いております。

質 沖縄県が発表した資料から若干述べさせて頂きます。

特定保健指導を終了した者のうち3分の1の者が、メタボリックシンドローム該当者及び予備

軍から脱却し、少なくとも年間医療費は、前年度と比較して約9万円減少している。

いわゆる受診を多くすれば、するほど国保の費用が安くなるといく傾向を述べております。

那覇市では、特定健診がスタートした平成20年度から、がん検診も含め無料。金武町や宜野座村でも、女性特有のがん検診や肺がん、胃がん、大腸がん、それに前立腺がんを含め、全て無料。

個人負担をなくすことにより受診率が向上し、村民の健康を守る手立てになると考えております。

がん検診を含め、無料化できないか、再度伺います。

答 福祉健康課長 長浜保治

早期発見、早期治療が、医療費の抑制に繋がると考えております。受診率のアップは、どうしても必要になると思っております。自己負担の部分も含め、村民に負担がなく受けられる形でできないか、前向きに検討したいと考えております。